

第二章 巣立ちへ

第1部 序章

<2012年8月5日>

早いもの7月10日ツミと遭遇してすでに26日目になりました。

3羽の雛は順調に育ち、昨日は1番最初の子供が3番目の雛に給餌するシーンを目の当たりにして、夫婦で感動していましたが、この日はその最初の子供が巣の周りの枝に移り止ることが多くなりました。

巣立ち・・・よく判りませんが、普通は親元を離れて巣から飛立っていく事と思っていましたが、巣から1歩でも外へ出れば巣立ちだよ、と言われる方もおり、正直よくわかりませんので、ここでは、この営巣地から離れて飛んでいくのを“巣立ち”と解釈して進めていきます。

<2012年8月6日 17時2分>

<2012年8月6日 17時9分>



<2012年8月6日 17時18分> 最初の子が巣の外へ



< 2012 年 8 月 6 日 2 番目の子供も巣から出て枝止まり >



< 2012 年 8 月 7 日 末っ子が巣の横に出た！> まだ産毛がいっぱい！



◇ この日末っ子も巣の外へでることを体験し、本当の巣立ちへの序章が始まった！
本当の巣立ちまでどんなドラマが待っているのだろうか・・・・・・・・

<2012年8月8日>

2 番目の子供



1 番目と 3 番目の子供



最初の子供は産毛も随分と無くなり、殆ど親と同じ大きさ、2 番目も少し産毛は残るが大きさは親に近いところを見ると雌のようだ、3 番目の子供は、頭は真っ白で産毛だらけだけれど、翼などは大分しっかりしてきた、この大きさの違いからすると雄のようだ。

<2012年8月9日>

今日は、10 時丁度にスタート、10 時 11 分直前に巣に親鳥が飛び込んだ！「お父さん！母親！母親！」「えっつ」直後 1 羽が飛び出した！「何だ！どうしたんだ」「お父さん前前！」「親鳥か？」「違う違う長男！」状況を整理しようとしたとき「ギャーギャー」とオナガの鳴き声！



見ると下におりているのは1番子（家内が長男と言っている子供）



足元に小鳥の足が！ようやく理解した、親が捕らえた獲物を巣に置いて飛び去った後に1番子がその獲物を掴んで飛び出して、下におりたところを、オナガが自分の子供を守るためにモビング(嫌がらせ)を始めたところだった。

ツミの足元の獲物はどうやらメジロ、オナガの子供ではなかったが、益々モビングは激しくなるばかり、ツミはそれを無視してこの場所で獲物を食べ始めた。



10時37分やっこの騒動は
終わって、長男も枝に戻り、
オナガも静かになった。
「凄いね！」家内もビックリ

26分間のハプニングの中でも
ツミの目の前を気がつかずに
通行した人が2人、更に車が行き来
して、この騒動を知っている人も
私達を含めて、たった3人。

